

廃棄物対策の概要

令和5年3月

沖縄県環境部環境整備課

本 編

本 編 目 次

○環境整備課の所掌事務及び組織図

第1節 廃棄物・リサイクル対策のあらまし

1	循環型社会の形成に向けた法制度について	1
	図1-1 循環型社会の形成に向けた法体系	3
2	県内の廃棄物処理・リサイクルの現状と課題	
(1)	廃棄物の種類	4
	図1-2 廃棄物の分類	5
(2)	一般廃棄物の現状と課題	
	ア ごみ処理の現状と課題	6
	図1-3 ごみ処理フロー図（令和2年度）	7
	イ し尿処理の現状と課題	8
(3)	産業廃棄物の現状と課題	8
	ア 産業廃棄物の発生状況等	9
	表1-1 産業廃棄物の発生量、排出量、再生利用量及び最終処分量	9
	イ 産業廃棄物処理業者等の許可状況	9
	ウ 産業廃棄物処理施設の設置状況	10
	エ 施設等の監視パトロール	10
	オ 不法投棄	11
3	循環型社会の形成に向けた県の施策について	
(1)	沖縄県廃棄物処理計画の推進	12
	表1-2 一般廃棄物の排出量等に係る基準及び目標値	12
	表1-3 産業廃棄物の排出量等に係る基準及び目標値	13
(2)	一般廃棄物に関する対策	
	ア ごみ処理広域化計画の推進	13
	表1-4 広域化ケースの考え方	14
	表1-5 広域化ケース	14
	イ 一般廃棄物処理施設の整備促進	15
	ウ ごみの減量化・リサイクルの促進	15
	表1-6 ごみ減量化推進事業	16
	エ 容器包装リサイクル法への対応	16
	オ 自動車リサイクル法への対応	16
	カ 家電リサイクル法への対応	17
	表1-7 県内及び全国の家電リサイクル引取台数	17
	キ ちゅら島環境美化促進事業	18
	ク 合併処理浄化槽の普及促進	19
	ケ 海岸漂着物対策の推進	19
	コ 県産リサイクル製品利用促進制度	20
(3)	産業廃棄物に関する対策	
	ア 産業廃棄物処理施設等への監視・指導	20

イ 不法投棄防止対策	21
ウ 公共関与事業	21
エ 産業廃棄物税による排出抑制、循環的利用及び適正処理の促進	23
図1-4 産業廃棄物税の概要	24

第2節 一般廃棄物

1 県内におけるごみ処理

(1) ごみ処理の状況	25
(2) ごみの形態別収集量・率	25
表2-1 ごみ総排出量の推移	26
図2-1 ごみ総排出量の推移	27
図2-2 1人1日当たり排出量の推移	27
表2-2 収集ごみの処理状況の推移	28
図2-3 収集ごみの処理状況の推移	28
図2-4 ごみ処理フロー図(詳細)・ごみ処理の状況(令和2年度実績)	29
表2-3 総資源化量とリサイクル率の推移	30
図2-5 総資源化量とリサイクル率の推移	30
表2-4 最終処分量の推移	31
図2-6 最終処分量の推移	31
図2-7 最終処分率の推移	31
表2-5 ごみの形態別収集量・率の推移	32

2 県内におけるし尿の処理

(1) し尿処理の状況	33
(2) し尿の形態別収集量・率	33
表2-6 計画処理区域内人口等の推移	34
図2-8 計画処理区域内人口等の推移	34
表2-7 し尿の収集量・自家処理量の推移	35
図2-9 し尿処理フローシート・し尿処理の状況(令和2年度)	36
表2-8 し尿及び浄化槽汚泥の処理方法の推移	37
図2-10 し尿及び浄化槽汚泥の処理方法の推移	37
表2-9 し尿の形態別収集量・率の推移	38

3 一般廃棄物処理施設の整備状況

(1) ごみ処理施設の整備状況	39
(2) ごみ焼却施設のダイオキシン類排出濃度測定状況	39
(3) し尿処理施設等の整備状況	39
表2-10 一般廃棄物焼却施設整備状況	40
表2-11 一般廃棄物最終処分場整備状況	41
表2-12 粗大ごみ処理施設整備状況	41
表2-13 廃棄物再生利用施設整備状況	41
図2-11 ごみ処理施設整備状況(令和4年3月末現在)	42
表2-14 ごみ焼却施設からのダイオキシン類排出量	43
表2-15 し尿処理施設等の整備状況	44
図2-12 し尿処理施設等の整備状況(令和4年3月末現在)	45

4	浄化槽	
(1)	合併処理浄化槽の設置基数及び新設率について	46
	表2-16 累積浄化槽設置基数の推移	46
	図2-13 合併処理浄化槽設置基数及び単独処理浄化槽設置基数の推移	46
(2)	法定検査の実施状況	46
	表2-17 法定検査実施率	47
	図2-14 法定検査実施率	47
(3)	生活雑排水対策	47
(4)	浄化槽法関連指導状況	48
	表2-18 浄化槽法関連指導状況(令和2年4月1日～令和3年3月31日)	48
5	容器包装リサイクル法	
(1)	分別収集計画策定状況	49
	表2-19 第10期沖縄県分別収集促進計画の概要	49
(2)	分別収集状況	50
	表2-20 容器包装廃棄物分別収集実績(年度別)	50
6	自動車リサイクル法	
(1)	自動車リサイクル法の概要	51
	図2-15 使用済自動車の再資源化等に関する法律の概念図	51
(2)	使用済自動車等の処理の状況	52
	図2-16 令和3年度使用済自動車処理実績	52
7	海岸漂着物等の状況	53
	図2-17 地域別漂着ごみ量(平成29年度～平成30年度現存量)	53
	図2-18 種類別割合	53
	図2-19 生産国別割合	53
	表2-21 海岸漂着物回収事業地域別実績(平成26年度～令和3年度)	54

第3節 産業廃棄物

1	産業廃棄物の発生状況(動物のふん尿を含む)	55
	図3-1 種類別発生量	55
	図3-2 業種別発生量	55
2	産業廃棄物の処理・処分状況(動物のふん尿を除く)	56
	図3-3 産業廃棄物処理・処分フロー(動物のふん尿を除く)	56
3	産業廃棄物の排出及び処理・処分状況の推移(動物のふん尿を除く)	57
	表3-1 排出及び処理・処分状況の推移	57
	図3-4 排出及び処理・処分状況の推移	57
(1)	排出量	57
	表3-2 種類別排出量の推移	58
	表3-3 業種別排出量の推移	58
(2)	再生利用量	58
	表3-4 種類別再生利用量及び再生利用率の推移	58
	表3-5 業種別再生利用量及び再生利用率の推移	59

(3) 最終処分量	59
表 3-6 種類別最終処分量の推移	59
表 3-7 業種別最終処分量の推移	59
4 産業廃棄物処理業者の状況	60
表 3-8 保健所別産業廃棄物処理業及び再生利用業	60
5 産業廃棄物処理施設設置状況	60
表 3-9 産業廃棄物処理施設の設置状況	61
6 施設の維持管理等	61
7 産業廃棄物処理業者等に対する立入検査等	62
表 3-10 立入検査実施報告	62
8 不法投棄防止対策	62
9 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管状況	63
表 3-11 PCB廃棄物保管状況(令和2年度末時点までの集計)	64